

# 新規市場の創造プロセス

若山 あみ

## 【要旨】

本研究では、消費者との相互作用に注目しながら、生産者が既存製品に対して新たな価値を生み出し、新規市場を創造するプロセスを明らかにしている。

事例は、(1)冷凍冷蔵庫市場と(2)たんぱく補給食品の2つである。(1)冷凍冷蔵庫市場は、買い替え需要が主だったのに対して、新たに買い足し需要(2台目)を掘り起こして新たな市場が創造された事例である。(2)たんぱく補給食品市場は、筋肥大を目的とするスポーツ用途から、健康を目的とした栄養補給用途の市場が創造された事例である。どちらの事例も、既存市場に対して新たなカテゴリ市場(=細分化市場)が創造されていた。

新規市場の創造プロセスは非常に複雑であり、1つの理論で説明することは難しい。そのため本研究では、イノベーション・マネジメントに関するさまざまな先行研究を整理し、新規市場の創造プロセスを紐解いている。

## 【講評】

経営部門の選考委員会は、4本の優秀卒業論文の中で、若山あみさん（中川充ゼミナール）の「新規市場の創造プロセス」を最優秀卒業論文賞として選定した。本論文は、シュンペーターやクリステンセンのイノベーション論に着目し、社会的形成アプローチに基づいて新市場創造のプロセスを明らかにするという問題意識を設定し、冷凍冷蔵庫市場の買い足し需要、タンパク捕食食品市場の新用途の需要によって生まれた新市場の創造のプロセスを分析して示唆を提供している。経営部門の選考委員3名と審査委員3名によるボルダールールに基づく投票の結果、本論文は19点を獲得して、4本の優秀卒業論文の中で1位になった。選考委員と審査委員は、本論文について、問題意識の設定に至るまでの論旨が明快であり、企業の視点だけでなく、企業と消費者の相互作用から新市場創造のプロセスを明らかにしようとしていること、先行研究の限界を踏まえて独自の課題を明らかにし、新市場創造のプロセスを詳細に分析して提示していること、飽和化された市場下で競争する企業の経営者と実務家にとって有益な示唆を与えることなどを評価した。一方で、選考委員と審査委員は、本論文の課題について、先行研究のレビューの範囲が十分ではないこと、企業内の情報について二次情報のみに基づいて記述していることを指摘した。

本選考委員会は、本論文について、選考委員と審査委員が指摘した課題を含むものの、最優秀卒業論文賞の論文としての価値を損なうものではないと判断した。